



～災害に強い八東づくりを共に・・・～

今週の土曜日(10/26)は、「防災参観日」です。昨年度の防災教育の取組を一步進め、本年度は親子で南海トラフ地震・津波から命を守る学習・体験活動を行いたいと計画しています。また、地域の皆様にも参加を呼びかけ、学校・家庭・地域が一体となった防災教育へと展開できればと考えています。先日、チラシでもお知らせしましたが、主な学習・体験活動は以下の通りです。

【降雨体験】



【土石流3Dシアター】



【煙からの脱出訓練】



【起震車体験】



【灯りづくり体験】



【津波映像学習】



【南海トラフ地震学習】



【炊き出し訓練】



雨天の場合でも開催しますが、降雨体験と起震車体験が中止となります。

「災害は、忘れたころにやってくる」と言いますから、いつ南海トラフ大地震が起こるかは分かりませんが、いざという時に備えて、知識を身に付け、危機意識を高めることは大変重要です。たとえ疑似体験であったとしても、災害に対するイメージがあれば適切な行動がとれ、自分や大切な人の命が守れると考えます。ぜひ、ご家族や親戚、ご近所の方と一緒に参加していただき、災害に強い八東地区づくりへの一步を、共に進めていきましょう!当日参加も大歓迎!お待ちしております!!

～防災意識アンケートの結果をお知らせします～

本校では、年に2回、防災意識アンケート実施しています。1回目の結果は、以下のようになりました（19家庭中16家庭より回収）。

〈肯定的回答 %〉

質問内容	児童	保護者
南海トラフ地震について話を聞いたり、見たりしたことがありますか。	100	
南海トラフ地震について関心を持っていますか		68.8
南海トラフ地震について家庭で話題にすることがありますか。	84	43.8
地震が起きた時、どんなことが起こるか知っていますか。	84	81.3
避難した後に家族で集合する場所を決めていますか。	40	81.3
避難した後に家族で連絡の取り方を決めていますか。	36	43.8
地震に備えての準備をしていますか。	56	81.3
地震発生後に、周りの方の安全のために何かできることを考えていますか。		6.2
南海トラフ大地震に備えるために、もっと学習が必要だと思いますか。	92	93.8
→防災学習の充実・様々な状況を想定しての避難訓練・保護者や地域と連携した訓練や学習・判断力の育成・南海トラフ大地震のこと・地震と津波の体験・家具の固定の仕方・防災グッズ・他県や他地域の避難所について		

【結果・分析】

- ・昨年度の防災学習の生かされ、2年生以上は避難場所や避難方法がわかっている。
- ・家にいるときの避難場所や連絡の取り方については、決めていない家庭が多い。
- ・家族で集合する場所を決めていると親は思っているが、子どもが理解していないことが予想される。
- ・「周りの方の安全のために何かできることを考えているか」の項目については、否定的な回答が多い。
- ・防災学習への関心は高く、取組に前向きな意見が多い。

アンケートの結果から、親子でも意識が違うことが見てとれます（黄色のマーカー部分）。この意識の差を埋めるためにも、親子での防災教育は必要と考えます。10月26日の防災参観日をきっかけに、家庭内での防災教育も一歩前進することを期待しています。

なお、2回目の防災意識アンケートは、12月に実施します。意識の向上が図られていることを願います。

～ 高知新聞「読もっか」掲載おめでとう！～

2年：小野さん 9月29日 文『メダルがもらえた』